第Ⅲ編 資料編

用語解説

あ行		
オーラルフレイル	P48	高齢になると、噛めない、飲み込めない、むせる、滑舌が悪くなる、口腔乾燥などの低下症状が多くみられ、こうした状態を「オーラルフレイル」という。
か行		
介護予防・日常生活支援総合事業	P44	地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等の方に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを旨とする。
共食	P39	一人で食べるのではなく、家族や友人、職場の人や地域の人など、誰かと共に食事をする。家族と一緒に食事することも減少し、ひとりで食べる食事が増加している現状をふまえ、国が家族と“食を共にすること”共食の大切さを提唱している。
合計特殊出生率	P13	一人の女性が一生のうちに産むこどもの数に相当する指標。15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。「コーホート合計特殊出生率」と「期間合計特殊出生率」があり、一般にどちらも「一人の女性が一生の間に生むこどもの数」と解釈される。
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	P48	後期高齢者の医療保険者である後期高齢者医療広域連合と市町村が協力して、後期高齢者の健康維持・フレイル予防に努める仕組み。複数の慢性疾患を抱える高齢者の健康増進を図り、いつまでも住み慣れた地域で安心して生活を送ることを目指すもの。
こども家庭センター	P35	母子保健機能と児童福祉機能を併せ持つ公的機関で、妊娠・出産・子育てに関する相談や支援を行う。専門職がこどもと家庭の健康・福祉を支え、地域と連携し、子育て世帯が安心して暮らせる環境づくりを推進する。
さ行		
産後ケア事業	P53	産後の母子に対しての心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができるよう支援する。宿泊型・デイサービス型・アウトリーチ型がある。
妊婦等包括相談支援事業	P46	妊娠・出産、子育てに関する悩み等に対して、研修を受けた子育て経験者や保健師等の専門職が不安や悩みを傾聴し、相談支援を行う。あわせて、地域の母親同士の仲間づくりを促し、妊産婦が家庭や地域における孤立感を軽減し、安心して妊娠期を過ごし、育児に臨めるようサポートする。
自殺死亡率	P66	人口10万人あたりの自殺死亡者数。
指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)	P34	適当な冷房設備がある等の要件を満たす施設で、熱中症特別警戒アラートが発表されたときには、誰もが暑さをしのぐために利用できる施設

新型コロナウイルス感染症	P1	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、重症急性呼吸器症候群コロナウイルス2（SARS-CoV2）による感染症。2020年1月30日にWHOにより国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）が宣言され、2023年5月4日に解除された。日本でも2023年5月8日に5類感染症に移行した。ウイルスが変異するので、流行を繰り返している。
生活習慣病	P9	食事や運動、喫煙、飲酒、ストレスなどの生活習慣が深く関与して発症する疾患の総称。脳血管疾患、心疾患、および脳血管疾患や心疾患の危険因子となる動脈硬化症、糖尿病、高血圧症、脂質異常症など。
は行		
ハイリスク児	P49	発育・発達過程において何らかの問題が生じる可能性があり、経過観察や必要に応じた発達支援が必要になる児
PDCAサイクル	P59	管理を円滑に進めるための業務管理手法の一つ。①業務の計画（plan）を立て、②計画に基づいて業務を実行（do）し、③実行した業務を評価（check）し、④改善（act）が必要な部分はないか検討し、次の計画策定に役立てる。
フォローアップ	P36	継続的に調査することを意味し、本文では、健診後の保健指導等による継続的な予防活動をさす。
フレイル	P26	加齢により心身の活力が低下してきた状態。健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下がみられる状態。適切な治療や予防を行うことで要介護状態に進まない可能性がある。
プレコンセプションケア	P49	性や妊娠に関する正しい知識を身に付け、健康管理を促す取組。若い世代（女性と夫・パートナー）を対象としたヘルスケアであり、現在の身体の状態を把握し、将来の妊娠や身体の変化に備えて、自らの健康に向き合うことを目的とする。
ら行		
リプロダクティブ・ヘルス・ライツ	P49	「性と生殖に関する健康と権利」と訳され、1994（平成6）年にエジプト・カイロで開催された国際人口開発会議において提唱された概念。女性のライフサイクルを通して、性と生殖に関する健康・生命の安全を権利としてとらえるもので、今日、女性の人権の重要な概念の一つとして認識されている。